

Visual Expand Module

AT-VEM600SP

MADE IN JAPAN



Ver1.0X.XX

USERS MANUAL

Expand

当製品は純正でナビ未装着のMINIにパイオニア製ナビを接続し、純正モニターのタッチ操作で使用する製品です。

パイオニアナビユニットには標準で4X4地デジチューナーが内蔵され視聴が出来ます。

当製品にはパイオニアナビ入力他、HDMI入力&カメラ入力も備えています。

カメラ入力はアルパイン製フロントカメラがダイレクト接続出来る設計になっています。

アルパイン製フロントカメラの映像表示パターンは画面をタッチする事で3パターン変更出来ます。

製品同梱の変換ハーネスを使用する事でRCAタイプの汎用カメラが装着出来ます。

バックギヤ連動切換動作も出来ますので社外バックカメラの取付も可能な入力です。

AV機器の音声を車両オーディオシステムから再生する為にA/Dコンバーターを内蔵しており、USBソース経由で再生されます。

※適切な設定後、地デジHDMIのソースを選択する事でA/Dコンバーターが動作開始してAVソースの再生が始まります。

A/Dコンバーター動作中は純正USB端子は切り離されます。

A/Dコンバーターは動作開始してもヘッドユニットが「ロード中」の後に再生が始まりますので再生開始まで4~5秒掛かります。

ご了承下さい。

※純正USB端子を使用する場合はDriveコントロールの「MEDIA」ボタンを短押しして下さい。A/Dコンバーターが停止して純正USB端子に戻ります。

※USB経由でのAV音声再生はヘッドユニットの特性上約0.4秒の音響の遅れが発生します。この音響遅延に同期するように映像遅延機能も搭載していますので違和感の無い映像視聴が可能です。

※映像遅延はプログラマブルボタンにて映像呼び出しをした時のみ動作致します。つまりHDMI映像とDTVフル画面表示時です。

(MAP表示時は遅延せずダイレクトですがその状態からタッチ操作にてDTV画面にした際は映像遅延されませんので音声とのラグが発生します。ご了承下さい。)

ナビゲーション(DTV含む)の各種操作方法や設定などはナビゲーションの説明書を参照してください。

当該説明書では純正モニターへの映像の表示方法が記載されています。

もくじ

- 1 もくじ、商品構成
- 2 AVインターフェイスの設定 (VEMメニューの操作) 1
- 3 AVインターフェイスの設定 (VEMメニューの操作) 2
- 4 使用方法1
- 5 使用方法2
- 6 使用方法3
- 7 動作に不具合が発生した場合

商品構成



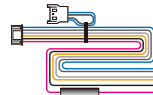
AT-VEM600SP本体



HSDモニターケーブル



HSD延長ケーブル



電源/CANハーネス



A/Dコンバーター用
割込みケーブル



AV出力ハーネス



FMアンテナ分配ケーブル



6Pカメラ変換ハーネス



ナビユニット接続ケーブル



UPDATE用USBケーブル



HDMIケーブル1m



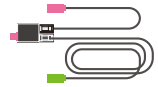
HDMIオス/メス
変換コネクタ



ガイドスピーカー



ガイドスピーカー用
延長ハーネス



GPSアンテナ分配器



コーションステッカー



保証書



ユーザーマニュアル



セットアップマニュアル

AVインターフェイスの設定 (VEMメニューの操作) 1

※VEMメニュー内の基本設定は当製品インストール後にインストーラーが設定しています。

iDriveコントローラーの「MENU」ボタンを長押しします。VEMメニューが表示されます。コントローラーのダイヤル回転で左の設定項目(上下)の変更が出来ます。(一番下まで行くと次ページに行きます。)コントローラーを右スライドで項目内設定に移動します。ダイヤル回転でアイコンを選択してPUSH操作で決定します。左スライドをすると再度設定項目(上下)の変更操作になります。選択しているアイコンでどのような設定が出来るのか画面上部に説明文が表示されます。VEMメニューを終了するにはモニター右側の「X」アイコンをタッチするか「MENU」ボタン短押しで終了し純正画面に戻ります。



VEMセーフティ設定



ナビ内蔵DTVとHDMIソースの走行中の視聴を制限するかどうかの設定です。LOCK状態では車両が4km/h以上となると視聴制限が入ります。UNLOCKにすると制限は解除され走行中でも視聴可能となります。



ナビ内蔵DTV呼び出し設定



オーディオ部の1番～6番のどのボタンで呼び出すかを設定します。(デフォルトでは1番です。HDMI入力と被らない番号に登録します。)呼び出しボタンには純正プログラム機能でUSBソースを登録しておきます。



HDMI入力呼び出し設定



オーディオ部の1番～6番のどのボタンで呼び出すかを設定します。(デフォルトでは2番です。DTV入力と被らない番号に登録します。)呼び出しボタンには純正プログラム機能でUSBソースを登録しておきます。HDMI入力を使用しない場合は呼び出しボタンの登録を消去してください。



カメラ入力の呼び出し設定



「MENU」ボタン2連打、「VOICE」ボタン2連打、「OK」ボタン2連打が設定可能です。(複数可)カメラ入力を使用しない場合は呼び出しボタンの登録を消去してください。

ViewPoint機能の設定



フロントカメラやサイドカメラなどを接続した場合、上記の操作で表示可能ですが普段からカメラを見たい場所でこの「ViewPoint」に登録するとその場所(半径約30m)に25km/h以下の速度で近づくると自動的にカメラ映像が表示されます。地点登録は4カ所可能です。登録されたアイコンは暖色に変化します。暖色アイコンをプッシュしますと登録削除します。ViewPointのアイコンに合わせて画面左下に現在の緯度経度が表示されます。地点登録するとその緯度経度が記録されます。

AVインターフェイスの設定 (VEMメニューの操作) 2



リバースアクション設定



Genuine

純正バックカメラ付き車両の設定です。
バック時に純正画面に戻り純正バックカメラ映像が表示されます。



Gen+C1

純正バックカメラ付き車両にフロントカメラなどを取り付けた際に便利な設定です。
カメラ入力の小窓映像が小窓で表示されます。小窓はタッチ&スワイプで位置変更可能です。
またステアリング↑↓ボタンで小窓サイズ変更可能です。



NO ACTION

純正バックカメラ未装着で社外カメラも装着しない場合の設定です。
バックギヤに入れても映像切り換えを行いません。



Camera

カメラ入力に社外バックカメラを取付した場合の設定です。

※ガイドラインは固定表示のみです。ステアリング連動機能は有りません。
※ガイドラインを選択すると調整アイコンが選択できるようになります。位置/幅/角度の調整です。



ガイドラインUSE

選択するとバック中のカメラ映像に固定のガイドラインが表示されます。



ADJUST

ガイドラインの位置調整の為カメラ映像に切り替わります。
画面上部に調整項目が表示されるのでコントローラーを使用して位置/幅/角度の調整をします。



A/Dコンバーターゲイン調整



外部AV機器の音声を純正USBソース経由で車両から再生するのですが、この音量の調整です。純正FMラジオをの音量を確認して、その音量に近いように調整します。
(ソース変更した際にボリューム差が最小になります。)

※ゲインを上げ過ぎると音割れる可能性がありますのでご注意ください。



ラストソースアイコン



この機能をONにすると車両OFFにする前の状態 (MAP画面/地デジ画面/HDMI) を次回車両再起動時に自動的に呼び出します。

※車両再起動直後からラストソースの画面になりますので、純正画面に何か警告が出ている場合見る事が出来ません。ご注意ください。しかし、iDrive[MENU]ボタンを押して純正画面に戻す事で確認は可能です。
(外部映像表示中から[MENU]ボタン操作にて純正画面に戻す際は純正画面の内容は変化しないように制御しています。)



ステータスマニター表示



このアイコンをプッシュしますと車両の各種ステータス表示画面に切り換わります。

[BACK]ボタンを押すとVEMメニューに戻り、
[MENU]ボタンなどを押すと純正画面に戻ります。



メンテナンスモード

これはディーラーなどでメカニックの方が車両整備などの際に使用するモードです。
ユーザーが行う事は有りません。(※動作詳細は6ページ参照)



UPDATE

これは当製品のファームウェアを更新する際に使用する機能です。
使用上改善したほうが良い修正などが有った場合、弊社HPIにて公開しますのでUPDATEする事でより良くなります。
UPDATE用USBがPCと接続されていないまま呼び出しますと当製品が再起動動作となります。

使用方法1



MAP画面に切り換えるには

方法1 iDriveコントローラーの「OPTION」ボタンを長押しします。MAP画面に切り換わります。

方法2 純正映像表示の状態の時はiDriveコントローラーのダイヤル操作やモニターのタッチ操作をする度に画面左側に(▲アイコン)が2秒間表示されます。

その(▲アイコン)をタッチする事でMAP画面に切り換わります。

※MAP画面への切替時には純正オーディオソースへの介入は行いません。それまで選択していたメディアソースのままMAP画面が表示されます。

※MAP画面の左側(田アイコン)でナビメニューが表示されます。右側(▲アイコン)で現在地MAPを表示します。

この呼び出し方法の時は映像遅延せずダイレクト表示です。(画面右下の表示が「DELAY OFF」となります。)ナビゲーションの操作はタッチパネルで行います。ナビの取り扱い説明書を参照して下さい。

地デジ画面に切り換えるには

VEMメニューで設定したプログラムボタンを押します。(デフォルトでは1番。)

事前にUSBソース呼び出しの機能をボタンに登録しておく事でワンタッチで映像と音声ソースを呼び出せます。(USB認識後に再生が始まりますので4~5秒後に再生開始されます。)

※地デジ映像は約0.4秒の遅延を掛け音声との同期が合うようになります。

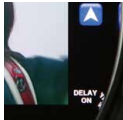
(画面右下の表示が「DELAY ON」となります。)

地デジの操作はタッチパネルで行います。ナビの取り扱い説明書を参照して下さい。

車両スイッチでの操作は出来ません。

⚠ 注意事項

地デジチューナーはナビユニットに内蔵された機能の一部です。地デジ→MAP、MAP→地デジなどの動作もそのまま画面内操作で出来る為、操作方法は沢山あります。またMAP画面の表示方法には「DTVサイドビュー」表示という地デジとMAPの2画面表示機能が有ります。操作方法によって映像遅延有りとし無しが切り換わります。



映像遅延有り

プログラマブルボタン操作にて地デジ映像を呼び出しますと映像遅延がONとなります。

そのままタッチ操作(▲アイコン以外のタッチ操作)でMAPやMAP/地デジ2画面表示に切り換えても遅延はONのままです。MAPの描写が0.4秒遅れます。



映像遅延無し

純正映像状態からiDriveコントローラーOPTION長押しや画面内の(▲アイコン)タッチにてMAP画面表示を呼び出すと映像遅延はOFFとなっています。

そのままタッチ操作(プログラマブルボタン以外の操作)で地デジやMAP/地デジ2画面表示に切り換えても遅延はOFFのままです。地デジの音声と映像にラグが発生します。



ラジオ音声+MAPにするには

純正メディアリストからFM/AMを選択して周波数を選び再生してから「OPTION」ボタン長押し
orモニターの ▲アイコンをタッチします。

(オーディオ部スイッチやステアリングスイッチにてラジオの操作は可能です。)



USBメモリ音声+MAPにするには


純正メディアリストからUSBメモリを選び再生してから「OPTION」ボタン長押し
orモニターの ▲アイコンをタッチします。

※既にA/Dコンバーターが起動している場合は「MEDIA」ボタン短押しして停止させてからになります。(オーディオ部スイッチやステアリングスイッチにて選局などの操作は可能です。)

使用方法2




Bluetoothオーディオ+MAPにするには

純正メディアリストからBluetoothオーディオを選び再生してから「OPTION」ボタン長押しorモニターの  アイコンをタッチします。(オーディオ部スイッチやステアリングスイッチにて選局などの操作は可能です。)



地デジ音声+MAPにするには

設定してあるプログラマブルボタンを押して一旦地デジソースに切り換えてA/Dコンバーターを動作させてから「OPTION」ボタン長押しorモニターの  アイコンをタッチします。

ナビの使用法や地デジの操作方法についてはナビユニットの説明書を参照してください。

HDMI入力の呼び出し

VEMメニューで設定したプログラマブルボタンを押す事で呼び出されます。(デフォルトでは2番)

HDMI入力画面を表示中はHDMI-CEC機能(リンク機能)が適応されます。

HDMI-CEC機能対応のAmazon FireTVやGoogleTVなどを接続する事で車両スイッチで
ある程度の操作が可能となります。

呼び出しボタンを押す度に表示サイズが変わります。

※HDMI映像+ステータス表示選択時は映像遅延が掛かりません。ご了承下さい。

※HDMIの音声再生でMAP画面とした場合はHDMI-CEC機能は停止します。HDMI-CEC機能はHDMI画面表示中のみ有効です。

※HDMI映像とMAPの2画面表示は出来ません。

※HDMI入力の呼び出しボタンを押す度に表示する画面サイズが変化します。

※HDMI音声再生の状態のまま画面をMAPとした場合に、MAPの表示方法を「DTVサイドビュー」表示を選択しても地デジ音声にはなりません。

一度地デジソース呼び出し操作をして地デジ音声の再生モードとなってからMAPの「DTVサイドビュー」表示を選択して下さい。

※HDMIケーブルは1mで接続されていて末端にメス変換コネクタが用意されています。メス変換コネクタはFireTVなどを接続する際の使用を前提としておりHDMIケーブルを延長する目的では有りません。ケーブルが長くなる事で不具合発生の可能性が有ります。

Amazon FireTVの車両スイッチでの操作

ダイヤル←スライド	リモコンの←ボタン	オーディオ部→短押し	リモコンの▶▶ボタン
ダイヤル→スライド	リモコンの→ボタン	オーディオ部→長押し	再生信号
ダイヤル左回転	リモコンの↓ボタン	オーディオ部←短押し	リモコンの◀◀ボタン
ダイヤル右回転	リモコンの↑ボタン	オーディオ部←長押し	
ダイヤルプッシュ	リモコンの決定ボタン	ステアリング↑	リモコンの▶▶ボタン
ダイヤルプッシュ2連打	リモコンのHOMEボタン	ステアリング↓	リモコンの◀◀ボタン
BACKボタン	リモコンの戻るボタン	ステアリングOK	再生信号



注意事項

地デジとHDMIの2種類のAVソースが使用出来ますが、操作方法や視聴状態には差が有ります。
これは地デジチューナーはナビユニットに内蔵されたナビの機能の一部として動作し、HDMI入力はナビユニットとは関係無くAVインターフェイスが別ソースとして動作する為です。この為地デジソースはナビとの2画面表示など便利な動作が可能となりますが、HDMIは単体動作となります。ご了承下さい。

使用方法3

リヤモニター出力について

当製品にはリヤモニター出力が2系統用意されていますが、出力される映像には下記制限があります。(AV映像に遅延が必要な為に起きる弊害です、ご了承下さい。)

外部から入力されたMAP映像、DTV映像、HDMI映像がフロント側表示と連動して出力されます。
つまりフロントがMAPならリヤもMAPと同じ映像のみが出力されます。
フロントが外部カメラ映像表示時はリヤはブラックアウト状態となります。
フロントがVEMメニューやステータス表示時はリヤはその前の映像を表示しますが、この時は映像遅延は掛かりません。
ご了承下さい。

アルパイン製フロントカメラのコントロール

カメラ入力は基本的にアルパイン製のフロントカメラを装着する為に装備された入力です。アルパイン製のフロントカメラを表示している状態で画面をタッチすると表示パターンが3種類変化します。

カメラ入力の呼び出し設定のメニューにある「Viewpoint」アイコンはカメラを表示したい地点で登録すると次回からその場所に近づくると自動的にカメラ画面に切り換わります。エリア外に移動するか30km/h以上に加速すると自動的に終了する便利な機能です。

(4カ所設定出来ます。25km/h以下の速度で30m範囲のエリアで表示します。)

見通しの悪い交差点など登録しておくとう便利です。

また、リバースアクション設定で「純正+小窓」を選択している場合、バック時などの純正カメラ+PDCの画面内にカメラ入力の映像が小窓で表示されます。

小窓部分をタッチしてスワイプする事で小窓の位置を変更可能です。(小窓状態の時は表示パターン変更は不可。)

純正でバックカメラ非装着の車両にはバックカメラ入力としての使用も可能です。

メンテナンスモードについて

車両整備の際に当製品が動作していると車両プログラミングに支障を及ぼす可能性があります。OBDⅡにテスターを接続する際は当製品をメンテナンスモードに入れて動作を停止させる事が可能です。(この操作は作業時に行う必要が有ります。)

メンテナンスモード中は動作を停止していますので、未装着状態と同様になります。

メンテナンスモードからの復帰には2つの条件が有ります。

- 車両を一旦スリープ状態で突入させます。
- 次に車両を起動させてイグニッションONにして運転席のドアの開け閉めをして開閉信号を与えます。

AVインターフェイスが動作を開始します。

ナビのガイド音声について

ナビのガイド音声は後付けされたガイド音声再生スピーカーから再生されます。

再生時には多少ノイズが混じりますがご了承下さい。

ガイド音声のボリュームはナビの設定画面で調整可能です。(ナビの取説を参照してください。)

純正オーディオでセンタースピーカーがに装着車両の場合はその部分にガイドスピーカーが設置されます。

純正でセンタースピーカーが装備されている車両はガイドスピーカーは別の場所へインストローラーが設置しています。

再生時のノイズは回避方法がありません。気になる方は操作音など停止してご使用下さい。

※ガイド音声の再生中でも他のオーディオソースにはミュートは掛かりません。

動作に不具合が発生した場合

ノイズなど何らかの原因で通信障害が起きた場合、通常動作出来なくなる可能性が有ります。
この場合再起動動作を試してみてください。

当製品の再起動方法

iDriveコントローラーの「BACK」ボタンを5秒間ほど長押しします。
当製品が再起動致します。
当製品の再起動に連動してパイオニア製ナビも再起動致します。ナビユニットに不具合が発生した場合にも有効な方法です。

純正ヘッドユニットの再起動方法

オーディオ部の「MODE」ボタンを5秒間ほど長押しします。
純正ヘッドユニットが再起動しますので一旦モニターがブラックアウトしてオープニングから始まる再起動をします。

使用中にiDriveがいきなり落ちてオープニングから始まった……

何らかのエラー蓄積や自動更新でiDriveコンピューターが再起動を行った可能性が有ります。
自己復帰動作ですので極稀に有ります。

純正機能に動作不具合が有る……

これは問題個所の切り分けが必要です。
当製品は新車時に装着するケースが多いと思われませんが、不具合の発生原因元が当製品なのか、純正側の何らかのユニットなのかを切り別ける必要が有ります。
車輻に搭載の個々の電子モジュールと当製品のマッチング(相性)が良く無い場合にも不具合を誘発する可能性は有ります。
相性問題の場合は不具合内容や発生状況にある程度関連性があったりします。
必ず発生する場合や頻度が高く発生する場合はディーラーや取り付け業者にご相談下さい。

極稀に不具合が発生する……

これは避けられないかも知れませんが…
PCやスマートフォンなどが時々正常動作出来ない時が有るのと同じ感じです。
車輻の電子機器や当製品などは高度な電子技術の集合体です。
外来ノイズなどが想定を超えた場合は不具合が出る可能性は有ります。
車輻にもEMC対策の不十分な製品は取り付けないようにしてください。
ドラレコ、5V電源変換、LED類など…設計が不十分でノイズを発している場合が有ります。

ディスプレイリングLEDが消えてしまった……

これは当製品がシステムに介入する事で発生し易くなる現象です……
現在対策プログラムで改善しておりますが、この症状は世界的にみれば純正状態でも稀に発生しているようです……
車両起動中にリングLEDが消えてしまった場合は純正ヘッドユニットの再起動が必要です。
オーディオ部の「MODE」ボタンを5秒ほど長押しして下さい。
一旦モニターが消えMINIのオープニング画面から始まります。同時に当製品も再起動が掛かります。
※この症状は稀に起り得る症状です ご了承下さい。

※その他、不具合っぽいかな?と思われる事などが有りましたら弊社へお問い合わせ下さい。

また装着されている製品のプログラムVerをご確認下さい。

HPで公開しているVerより古い場合はUPDATEで改善する可能性も有ります。(更新内容もHP記載してあります)

※装着した外部機器に特化した部分は外部機器の取説をご確認下さい。